

染色家の絵心

芹沢銈介の
肉筆画



手控帖『文様下絵』(一九六〇ころ)より

2024年 4/2(火) ▶ 6/16(日)

静岡市立 芹沢銈介美術館

静岡市駿河区登呂五丁目10-5 (登呂公園内)
TEL ▶ 054-282-5522 HP ▶ www.seribi.jp
X (旧 Twitter) ▶ @seribi_shizuoka (フォローはこちら⇒)



芹沢の型染の世界。

それは「絵」からはじまった。

少年のころから絵を得意とし画家を夢見ていた芹沢銈介。後に「型絵染」の重要無形文化財保持者（人間国宝）となり、世界的な作家としても評価されますが、その根底には少年時代から脈々と流れる絵心がありました。晩年になると「ガラス絵」や「板絵」などの絵画作品も積極的に制作し、作品のアイデアを即興的に描いた絵を貼りこんだ「手控帖」は、画家バルテュスが「芹沢は魔法の手を持っている」と絶賛したほどでした。この展覧会では、ガラス絵、板絵、手控帖など、当館の収藏品の中から、芹沢の絵画作品約四〇点をご紹介します。



下絵を描く 芹沢銈介（一九八〇）



1



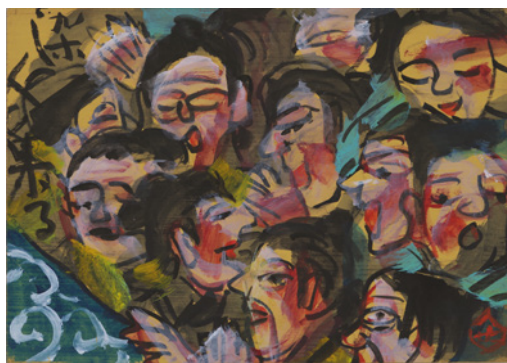
2



3



4



5

1. 油絵「ざくろ」（1921ころ）
2. スケッチ「ガーベラとヴェロニカ」（1965ころ）
3. ガラス絵「シーサー」（1975）
4. ガラス絵下絵「司祭館」（1972）
5. 板絵「染人集る」（1980ころ）

芹沢銈介が集めた世界の絵画

同時開催

展示室の後半には、芹沢銈介の収藏品から、インド、エチオピア、ルーマニア、メキシコなどの「世界の絵画」約 50 点を展示します。芹沢の眼によって集められた色彩豊かな絵画作品をお楽しみください。

ガラス絵「キリストの生誕」（ルーマニア）▶



【開館時間】9:00～16:30

【休館日】毎週月曜日（4/29、5/6は開館）、4/30、5/7

【観覧料】一般 420円 / 高校生・大学生 260円 / 小学生・中学生 100円 / 未就学児無料
（団体割引は30名以上でご利用いただけます）

※静岡市内在住の70歳以上の方・小中学生（通学含む）無料
※障がい者手帳等の提示により本人及び同伴者1名無料

【交通】

<バス> 静岡駅南口22番バスのりばから「登呂遺跡」行き乗車、約10分終点下車、徒歩約3分

<タクシー> 静岡駅南口から登呂公園へ約10分

<東名高速> 静岡I.C.または日本平久能山スマートI.C.より約10分

<駐車場> 登呂公園南側に有料駐車場があります
（普通車 400円/1日）



静岡市立芹沢銈介美術館

静岡市駿河区登呂五丁目10-5（登呂公園内）
TEL ▶ 054-282-5522 HP ▶ www.seribi.jp
X（旧Twitter）▶ @seribi_shizuoka（フォローはこちら）



●会期中のイベントについては、ホームページやX（旧Twitter）をご覧ください。お電話にてお問い合わせください。